



ビート・セルヴェンカ
(PETE CERVINKA)
局長

カリフォルニア州 - 保健福祉局
発達障害局
1215 O Street, Sacramento, CA 95814
www.dds.ca.gov



ギャビン・ニューサム
(GAVIN NEWSOM)
知事

2024年12月27日

G-2024-自己決定プログラム-002

宛先： 地域センター事務局長

題目： 2024～25年度 自己決定プログラムへの資金提供

WIC (Welfare and Institutions Code/福祉・施設法) 第4685.8条(f) に基づき、2024年9月6日のA-1契約修正配分を通じて、2024～25年度の自己決定プログラム (SDP) の資金が地域センターに配分されました。本書簡は、資金の地域的優先順位の決定における地域ボランティア諮問委員会 (LVAC) との協力の必要性を含め、当該資金の使用に関する指針を提供することを目的としています。この配分には、州全体の自己決定諮問委員会への資金は含まれていません。

WIC第4685.8条(f) には、SDP参加者が生活を自己管理する能力を最大限に高めること、および当局と地域センターがプログラムを成功裏に実施することを目的として、当該資金を使用する必要があると規定されています。また、参加者のニーズを満たすこと、サービスの利用可能性と公平性を高めること、格差を縮小すること、および以下に関連する費用を含めてプログラムを実施することを目的として、当該資金を使用することが法律によって定められています。

- 本人中心の計画と自立支援 (SD) の提供業者と独立系斡旋業者の採用と研修 (バイリンガルとバイカルチャルの提供者の数を増やすことに重点を置く)
- 参加者、家族、地域センター、LVAC委員などを対象とした共同研修 (SDPが十分に行き渡っていない多様なコミュニティの自己権利擁護者と家族に関する研修に重点を置く)
- 支出計画の策定支援
- 継続的な共有学習と問題解決の機会を促進することを目的とした共同グループ/ワークショップ
- 共同雇用主モデルと単独雇用主モデルの使用に関心のある参加者に教育を提供することを目的とした雇用主準備研修/ワークショップ

SDPの実施と監督において、LVACが重要な役割を果たします。そのため、地域センターとLVACは協力を図りながら、利用可能な資金を優先的に使用して地元の参加者の二

ーズを満たす必要があります。地域のニーズについて合意に達するまで、資金が支出されない可能性があります。資金の用途、2024～25年度に各地域センターエリアで使用できる資金の額、資金の使途を決定する上で推奨される手順の詳細については、添付資料Aを参照してください。

本書簡に関して参加者やその家族から質問がある場合は、それぞれの地域センターに各自が問い合わせる必要があります。地域センターからの質問は、当局の自己決定プログラム課 (sdp@dds.ca.gov) に問い合わせる必要があります。

よろしくお願いいたします。

原本の署名者：

ミチ・A・ゲイツ (MICHIE A. GATES) 哲学博士
局次長、プログラム・サービス
添付文書

cc: 地域センター管理者
地域センター・消費者サービス担当局長
地域センター・コミュニティサービス担当局長
地域センター機関協会
州発達障害評議会 (SCDD)
ピート・セルヴェンカ (Pete Cervinka)、発達障害局
カルラ・カスターニエダ (Carla Castañeda)、発達障害局
アーニー・クルーズ (Ernie Cruz)、発達障害局
ジム・ナイト (Jim Knight)、発達障害局
キャスリーン・デンプシー (Kathleen Dempsey)、発達障害局